

令和6年5月8日

鹿児島県保育士養成校共催
令和6年度（第22回）施設実習連絡会

～参加校～

鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学・鹿児島女子短期大学
鹿児島国際大学・第一幼児教育短期大学

1. 2024年度施設実習に関する説明（養成校別5分×5校）

- ・施設実習に関する総括
- ・2023年度 保育実習（施設実習）の評価や今後の課題について
- ・2024年度 保育実習（施設実習）の計画や実習期間、書類等の確認
- ・実習における指導や評価表の記載について
- ・実習生への配慮についてのお願い 等

2. 分科会（養成校別）

第一幼児教育短期大学

・『保育士』としての実習であるという事を配慮してほしい

成人の排泄介助や口腔内のブラッシングなどに関しては勉強もしていないし経験もないのでそこは配慮してほしい

・様々な生徒がいるので理解してほしい

コミュニケーションがうまく取れない生徒もいる。学校としては、自発的にコミュニケーションが取れないと実習には出さないようにはしているが、自分からの社会の中で必要なコミュニケーションを取れるような指導は行って欲しい。

ジェンダーレスに配慮してほしい（服装や見た目、多目的トイレの使用の許可など）

・3週間の実習を基礎実習と仕上げの実習と段階づける

実習Ⅰ 見学・観察・参加・部分実習と積み上げの実習

実習Ⅱ 参加・指導実習（指導案の立案、設定保育）

・就職先について

8割 保育園、幼稚園、こども園への 1割 施設への就職 1割 その他

<それぞれの施設での取り組みや配慮している部分等の情報交換>

- ・実習生が施設で働いてみたいと思えるような実習にしていけるように配慮している
- ・こどもと関わる機会をできるだけ作り、繋がりを大切にしている
- ・実習での記録の時間の確保や振り返りの時間を大切にする
- ・不安の解消や配属先への配慮に努めている
- ・福祉に関わる人材を増やしていきたいと思っ接している

